

京都医労連第63回中央委員会開催！

26春闘
こそは大幅
賃上げ

報酬改定のチャンスを活かし、他産業を 上回る賃上げ春闘に！

止まらない物価高騰から暮らしを守る賃上げを勝ち取り
人材を引き寄せる賃金を実現して医療・介護を守ろう！

京都医労連は、1月24日（土）に京都アスニーにて中央委員会を開催しました。勝野委員長のあいさつで開会した、今回の中央委員会は、公開学習会講師として、回転寿司ユニオンの吉田帆駆斗（ほくと）書記長に「回転寿司ユニオン その取組みと到達」と題して講演いただきました。以下要約です。



議長の上地さん(桂病院労組)と藤井さん(民医労)

吉田帆駆斗(ほくと)さん「回転寿司ユニオン その取組みと到達」



國學院大學4年生。大阪堺出身で、天王寺のスシローで働いていた。通学で東京に行き、引き続きスシローでアルバイト。

2022年に回転寿司ユニオン作った。組合結成時の不満は①未払い賃金（前残業・着替え手洗い等の準備時間）②賃金が低い（スシローが特に低い）③名札がフルネーム表記 ④人手不足（機械化が進んでいるが、それぞれに人の配置が必要。機械化を口実にして人減らしされている）。

●なぜ名前は回転寿司ユニオンか？

回転寿司業界に注目が集まっていた時期。①回転寿司業界を良くするため ②し烈な低価格競争は企業だけの問題ではない。労働者にしわ寄せがいくことを変えたい。③従業員数スシローだけでは4万人。業界全体では20万人。業界全体の条件底上げをする。そのためSNS等で社会化を進める戦術取った。

●最初のストライキは「ノリ」で

中学校の時、国労ストライキを知り労働組合のストに感動、ストライキに憧れていた。ストライキがしたくてたまらなかった。そのノリだった。23春闘ストの結果、時給1200円が1400円に大幅賃上げ。24春闘はストに対する抵抗感・恐怖感を青年ユニオン弁護団の力を借りて一安心、宮崎で組織化が進み職場の半数を取った。25春闘は会社からのスト破りや妨害対策のため緻密に作戦を練ったが、それでも会社は人をかき集めてスト破りした。しかし社会的インパクトは大きかった。

※25春闘スシロー宮崎恒久店ストライキ動画(YouTube)→



●合意形成は現場の声が基本・生計費原則はウケない・闘いが先で拡大は後

合意形成は現場の声が基本。生計費原則はウケない。そもそも生計費でなく、最賃や周辺相場の方がわかりやすい。たたかいが先で拡大は後。どれだけ理屈で言っても加入しない。小さくてもいいから要求実現して呼びかける。未払い賃金払わせた後に組織化進んだ。

オルグはまず話を聞く。しゃべりたくても我慢してひたすら話を聞く。その上で組合に入ればこういう対応ができるとレスポンスをする。自分の言葉で労働組合を語れるかが大事。

ストやデモが社会的注目を集め、話題を集める。現場の声がダイレクトに社会に届くのがストの良さ。

★講演後質問が3本寄せられ、参加者からは「『闘いが先、拡大は後』は今後の組合の方向を考え直すきっかけの言葉となった」などの感想が寄せられ、とても良い学習会となりました！

【裏に続く】

●京都新町病院の一方的廃院は許さない!

●続いて、理事会が一方的に3月末に廃院を決めたことに対し、組合結成をして闘われている京都新町病院元事務局長の岡本さんより「京都新町病院を今後も地域住民の方々に医療を提供していくために残してほしい」と経過や現状について報告され、署名などへの支援を訴えられました。



●16人の発言 春闘方針を全会一致で採択!

●午後の議案提案では、坂田書記長から「診療報酬・介護報酬の微増改定を許さず、職場ではストライキを構え、大幅賃上げ実現めざし奮闘しよう!」と2026年春闘方針が提案されました。

続く討論では16人より発言がされ、●昨年末もちつき大会ポスター貼っていたら「組合に入りたい」と問い合わせが。宣伝は大事。少しずつ進んでいきたい。(洛西ニュータウン病院労組) ●今春闘こそベア獲得を。組合こそ状況を変えられる唯一の組織。頑張りたい(ふるさと病院労組) ●組合員拡大に力を入れていたが「闘いが先拡大は後」という言葉がすごく響いた。相談していい方向につなげていきたい。(第二日赤労組) ●執行部人数増えて若返り希望ある。しんどい実態を要求実現のため曲げずにやっていきたい。(太秦病院労組)



●執行部は頑張っているが、組合員数減。ボーナスがすごく減ったりしないと組合加入のメリット感じないのか(中野眼科労組) ●違法な勤務を団交で追及して改善させたが人員不足で未解決。支援でつないでいる。(福知山市民労組) ●中央病院で一方的な変則三交替導入。「人間らしい生活ではない」「いのちまもる13時間勤務は長い」などの現場の声もあり、引き続きみんなと手をつないで闘っていきたい(民医労)

●介護現場も過酷。国に訴えて改善していかないといけない。(民医労) ●12病棟で2交替強行。エッセンシャルワーカーとしてのいのちまもる立場でのちを削らずに済む職場づくりをしていこうと思う。団結して団交して一歩ずつ前進していきたい。(桂病院労組) ●医療介護と生産性効率性は真反対。府知事選挙でいのち暮らしをまもり、ケア労働者の処遇改善してくれる府政にするためがんばりたい。(民医労) ●吉田さんの言うように友達になり悩みを分かち合うことが組織拡大に必要。色んな単組で若手と繋がりたい。(青年部) ●丹後舞鶴の地域医療の状況は深刻。京都府の姿勢が問われる。地域医療守る京都府政実現が大事(塩見書記次長) ●今の現場の状況分かっていたら「効率化」などという言葉は出ないはず。私たち現場の人間が訴える必要がある。頑張らしましょう。(第一日赤職組) ●国も京都府も医療を民間に任せたらいいと切り捨ててきた。医療労働者は賃上げもだが、医療全般が本当にそれでいいのかと府知事選挙や総選挙で声をあげないと。(府職労連洛南) ●現場はギリギリでまさにサバイバル。組合員も減っているが、声をかけると署名とかしてくれて共感してもらえる活動できていると思う。組合員増やすために自主性を引き出すような活動をやってみたいと吉田さんのお話聞いて思った。(山崎副委員長) ●組合のない職場にいる。賞与はドン引き。組合がないと当然交渉も数字の根拠も説明もなく情報も取れない。前の病院にいた時は、病院側管理から数字の根拠が聞けるとか、要求書を出せる事が当たり前だったが、当たり前じゃないと実感。微力ながらがんばりたい(個人加盟)などの発言のあと、春闘方針案は全会一致・規定改正案は賛成多数で承認されました。

「社会保障を守り、医療・介護で働く私たちの処遇と未来を切り開くために」の特別決議を確認し、山崎副執行委員長のあいさつのあと、団結ガンパロウで終了しました。

大幅賃上げ目指し、2026春闘をともにがんばりましょう!

中央委員会終了後 円町駅ロータリーにて署名宣伝行動しました!!



★2026春闘スケジュール★

2月27日(金) 2026春闘要求提出期限

2月28日(土) 京都医労連「仲間を増やそう・つながる・つかえる・くみ活大作戦」第二弾

3月4日(水)~5日(木) 日本医労連中央行動(国会議員要請・対政府要請)

3月11日(水) 回答指定日

3月12日(木) 統一行動日(ストライキを含む全国統一行動)